

第39週の発生動向 (2004/9/20~2004/9/26)

- 1 水痘については、前週に比べ21人の増加となっており、注意が必要です。特に上十三保健所管内では12人の増加となっています(下図参照)。
- 2 手足口病については、上十三保健所管内、ヘルパンギーナについては青森及び弘前保健所管内での報告数が多いことから引き続き注意が必要です。

第39週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															
(60) 咽頭結膜熱									1	0.17			1	0.02	-2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	6	0.60			1	0.20	1	0.17	3	0.75	19	0.45	-13
(62) 感染性胃腸炎	10	1.25	10	1.00	4	0.44			10	1.67	6	1.50	40	0.95	2
(63) 水痘	1	0.13	3	0.30	5	0.56	2	0.40	16	2.67	3	0.75	30	0.71	21
(64) 手足口病			1	0.10	1	0.11			14	2.33	2	0.50	18	0.43	6
(65) 伝染性紅斑															-3
(66) 突発性発疹	2	0.25	8	0.80	1	0.11			3	0.50	3	0.75	17	0.40	-9
(67) 百日咳															
(68) 風疹					1	0.11					1	0.25	2	0.05	-1
(69) ヘルパンギーナ	17	2.13	15	1.50	2	0.22	1	0.20	1	0.17	7	1.75	43	1.02	-21
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.38	1	0.10	6	0.67			1	0.17	1	0.25	12	0.29	-8
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50							2	0.18	1

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報 ■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

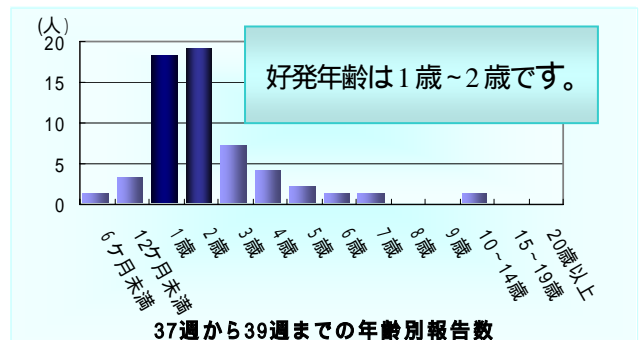
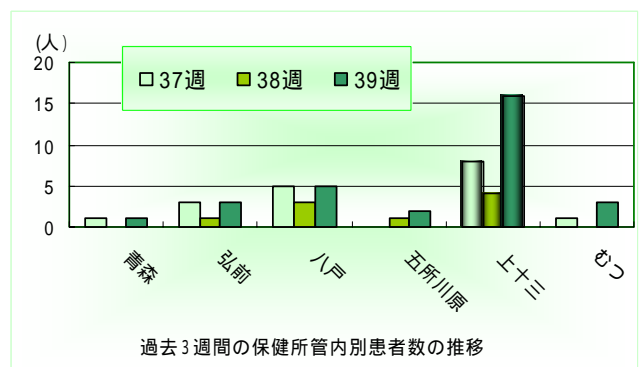
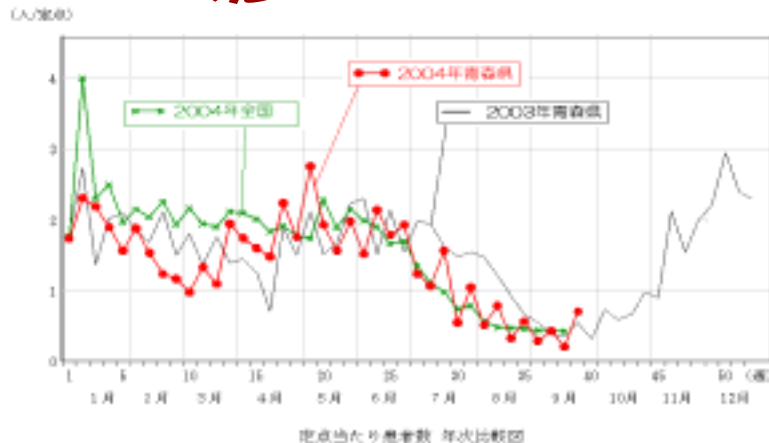
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内:4人 合計4人 (16年計 47人)
- (84) 無菌性髄膜炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内:1人 合計1人 (16年計 1人)

感染症の窓

水痘

(varicella zoster virus ; VZV)



病原体は ヘルペスウイルス科の水痘帯状疱疹ウイルスです。感染力は風疹より強く、家庭内等では極めて高い発症率で感染します。痂皮化するまで感染力があるので注意が必要です。

感染・予防 咳、くしゃみなどの飛沫、又は水疱への接触などにより感染し**ヒトからヒトへの感染が主体**です。ワクチンの接種については医師と相談することをお勧めします。